

学力向上に効果のある取組事例

日出町立豊岡小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体

【基礎・基本を身に付けた子の育成】

○豊岡学習スタンダードの徹底

- ・全校で学習規律を統一し、指導の一貫性を持たせる。
- ・児童に授業に向かう気持ちの切り替えを意識させる。

○教科担任制(5・6年算数)

- ・複数学級での授業を実施することにより、指導方法の工夫改善が図られる。
- ・教材研究や教材教具の準備の時間を確保することにより、ICT機器等も活用した、わかりやすく充実した授業づくりに努めることができる。
- ・複数の教員で指導することにより、児童理解が深まり、学習および生活指導に生かすことができる。

○SA(スクールアシスタント)の活用

- ・学習ボランティアに、算数のプリントの○付けや計算カード、九九の聞き取り等、国語、算数を中心に学習の補助をお願いし、褒めたり、励ましたりしてもらうことにより、基礎・基本の定着と児童の学習意欲向上につながる。

○家庭学習の工夫

- ・学習内容の定着を図るため、学年の発達段階に応じて家庭学習の工夫をする。
- ・高学年は、自主学習に取り組んでいる。よい取組を廊下に掲示。
- ・家庭学習強化週間を4月、9月、1月に設けて、保護者に家庭学習の取組状況の確認や声掛け、添削を行っている。

【自分の考えをもち、言葉で表現できる子の育成】

○授業における言語活動の充実

《思考を交流する場の工夫》

- ・自分の考えをもち、友だちと考えを伝え合い、比較、検討する交流を工夫する。
- ・単元計画において、意見を交流する場を設定し、新たな気づきや考えの変化、感想を1単元に1回は、記録させる。

《共感的人間関係づくり》

- ・人間関係プログラムを、週2回朝活動において設定して取り組んでいる。

豊岡 学習スタンダード (SD)

1. じかんをきちんと(チャイムでうごく)。
2. じゆんびをきちんと
(わすれ物ゼロ、5分休みで次の時間の準備)
3. 話の聴き方をきちんと(聴き方「あいうえお」)

はなしの聴きかた
あ いてをみて
い いたいことは?
う なずきながら
え が おで
お わりまで

【話の聴き方「あいうえお」】



【6年 SAによる丸付け】



【5年 自主学習】